

令和元年度 第1回学校運営協議会 議事録

日時 令和元年7月17日(水) 15時～
場所 山辺高等学校 音楽室
出席者 森山委員、第十委員、嶋本委員、末田委員、播磨委員、中西委員
植委員、吉谷委員、辰巳委員
穴田校長、角山教頭、森田事務長、中井総務部長、巽教務部長
安原生徒指導部長、西田総合企画部長

議事

1. 校長挨拶
2. 委員の委嘱・任命
 - ・協議会の委員は県教育委員会からの委嘱・任命となる。
 - ・任期は1年(今年度は、来年3月31日まで)。
3. 委員紹介
 - ・各委員による自己紹介
4. 会長・副会長選出
 - ・会長 植委員、副会長 吉谷委員が承認される。
5. 会長挨拶
 - ・私の入学当時は、地元出身者が大部分であった。
 - ・少子化で生徒数も減少するが、より良い学校作りを目指して欲しい。
6. 議案
 - (1) 平成31年度 学校評価計画について(報告)
 - ①学習指導
 - ②生徒指導
 - ③キャリア教育の充実
 - ④地域の連携
 - ⑤耐震整備計画
 - (2) 山辺高校について(説明)
 - (3) 質疑応答
 - [意見]・学校と地域の交流、地域とふれあう
教員による地元ソフトボール大会への参加などを、これからの課題としてもらいたい。
 - [意見]・地域で子供たちの学べる環境があれば良い。学校で考えていただければ。

- [意見]・校舎の建て替え⇒地元学校の同規模存続はありがたい。
一方で、定員割れの問題。学力差の問題。
防災面の問題・・・二次避難所の指定
(地域との連携を密に)
- ・課題に対して、わかりやすい評価指標を設定されたら良いと思う。
- [意見]・私は地域防災を担当しているので、その面でのアドバイスは出来ると思う。
先生方には「足かせ」が付いているように思う。それが生徒にも伝わっているのか、覇気がない。先生方は、もっと自由に楽しくされたら良いのでは。
- [意見]・サッカー部として、地域と関わっている。
今後も環境は大きく変わらない。
学校自体に魅力があれば・・・ということの手段としてサッカー契機が無いため、地域の事業に入っていけない。
- [意見]・サッカー部の生徒は、地域の方に対して挨拶を励行してくれている。今後は、ボスコサッカーアカデミーと地元で、サッカーを通じたイベントを企画出来たらいい。
- [意見]・老人福祉施設の関係者として、何か学校と一緒に訓練させてもらっているように思う。
人材不足の折、山辺高校の新卒者を採用できることを誇りに思う。
- [意見]・総合学科の新設、高等養護学校分教室の設置、ボスコサッカーアカデミーなどご苦労されている。
従来、地元の生徒が多かった。少子化の時代、オープンスクールなどにより地元と関わっていただいている。今後も引き続き地元と関わって頑張っていただきたい。
- [意見]・生徒の地元への定着・定住を目指していただきたい。
都祁高原マラソンへの参加やボランティア活動を通じて、地域の良さを理解していける生徒、そんなことを目指していただきたい。
- [回答]・学校からの発信を強化したい。その取組のひとつとして、自治連合会の会合で学校をアピールさせていただいた。
学校の「真の姿」を知っていただき、学校に関心を持っていただきたいと考えている。
新築校舎の建設については、様々な教育活動に対応できるような施設の要望をした。
ボスコサッカー部によって、学校全体が良い方向に動いている。学校の雰囲気は変わりつつあると感じている。

7. 連絡事項

- ・第2回学校運営協議会について

11/6(水) 予定